

# 平成29年度 事業報告

平成29年度は、定款第4条に基づく6つの事業や重点事業に取り組んだ。

## ※重点事業

- 1、地域包括ケアシステムの推進 2、看護職が働きやすい環境づくりの推進 3、看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進 4、会員サービスの強化と会員増

## ※平成29年度におけるトピックスおよび主な新規の取り組み

●トピックス
①日本看護協会長に福井トシ子氏が就任 ②訪問看護供給体制推進事業の実施(訪問看護事業者実態調査、精神科訪問看護基本療養費算定研修会、ELNEC-J研修、訪問看護理解・連携促進事業)の実施 ③看護職員向け認知症対応能力向上研修の実施 ④鹿児島市と災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協定書締結、鹿児島県看護協会災害対応マニュアルの改訂等災害時危機管理体制の充実 ⑤本協会ホームページに会員専用のページを開設
●主な新規の取組
1. 看護師の臨床ラダーの活用推進 2. 若手看護職の就業支援 3. 看護教員の研修支援 4. 訪問看護事業者の実態調査 5. 訪問看護事業者によるサービス提供体制の強化 6. 訪問看護理解・連携促進事業 7. 医療・介護事業者ターミナルケアの促進事業 8. 認知症対策・連携体制整備事業 9. 子どもと子育て世代地域包括ケア体制の推進 10. 看護職のボランティア活動推進 11. 看護職の賃金モデルの活用推進の検討 12. 看護職のネットワーク強化事業

## 1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

★新規

項目	内容
1 看護教育制度に関する情報収集、広	
1) 看護基礎教育について	a) 日本看護協会理事会出席 b) 厚生労働省審議会等の動向把握 c) 看護師基礎教育4年生の推進
2) 保健師・助産師教育大学院化に関する情報収集	a) 助産師教育大学院の周知
3) 准看護師への支援	b) 保健師教育大学院に関する情報収集 a) 進学支援 } (8月5日:24名) 全国准看護師制度担当役員会議 (9月7日) b) 研修支援 c) 関係機関団体との連携
4) 看護教員養成講習会について	d) 情報収集、地区等での研修支援 a) 県への要望 (知事への要望書提出8月8日) b) 看護専任教員養成講習会開催に向けた行政への準備協力
5) 看護職員の能力向上対策研修事業 (特定分野における実習指導者講習会)	a) 看護基礎教育と継続教育の連携強化 (7月24日:19名) b) 特定分野における実習指導者講習会 (29名) c) 行政・看護基礎教育機関との連携
2 継続教育の充実	
1) 県協会研修会の企画と実施	a) 教育研修事業の企画、実施
① 一般研修 (衛星放送、インターネット配信含む)	b) 教育研修事業の改善・検討(研修毎のアンケート調査をもとに) c) クリニカルラダーレベル研修の充実
② 職能委員会企画の研修 (県委託含む)	a) 保健師研修会:キャリア形成、統括保健師研修 (助産師・看護師職能と合同研修) 9月30日:105名 b) 助産師研修会:産科管理者研修、アドバンス助産師交流 (9月23日:70名) c) 看護師ⅠⅡ研修会:こころの健康づくりメンタルヘルス等研修 (6月23日:110名) d) 介護・福祉施設等で働く看護師、管理者研修会 (9月9日:37名)
③ 県受託・補助研修	a) 実習指導者講習会 b) 高齢者権利擁護等推進事業における看護職員研修(7月25日～26日:64名) c) 訪問看護師養成研修(入門19名・養成26名・管理19名)6月2日～11月17日 (eラーニング受講修了者の受入) d) 看護職員確保対策事業(専任教員継続研修) ・新任期看護教員研修Ⅰ (7月24日:20名) ・新任期看護教員研修Ⅱ (11月13日:19名) ・看護学校管理者研修 (10月7日:32名) ・准看護養成所看護教員研修 (H30年3月3日:7名) e) 就業相談員養成・育成研修 (6月23日、30日、7月12日:1名) f) 特定分野における実習指導者講習会 (重複) g) 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 ★ h) エンドオブライフケア研修 ★ i) 病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修 ★(9月13日:195名) j) 看護職員向け認知症対応能力向上研修 ★

項目	内容
2) 地区研修の推進	a) 会員・非会員への研修支援
3) 地区研修の充実	a) 地区での研修の企画・実施 b) 地区内でのブロック別研修の実施
4) 認定看護師の活用・支援	a) 認定看護師の交流会 (9月29日:57名) b) 認定看護管理者の支援・活用
3 認定看護管理者教育	
1) ファーストレベル教育事業	a) ファーストレベル教育企画・運営 (8月16日～10月26日:88名) b) ファーストレベル修了生支援
2) セカンドレベル教育事業	a) セカンドレベル教育企画・運営 (9月1日～11月10日:24名) b) セカンドレベルフォローアップ研修 (10月14日:26名) c) サードレベル教育の受講促進
4 保健看護研究学会に関する事業	a) 鹿児島県保健看護研究学会の開催 b) 看護研究への取り組み c) 日本看護学会の開催案内

## 2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内容
1 働き続けられる職場づくり	
1) 「ワーク・ライフ・バランス」の推進	a) ワーク・ライフ・バランス(WLB)フォローアップ研修会開催(県受託) WLB推進評価委員会による体制づくり(8月23日:委員会開催) b) かえるプロジェクトの推進 c) 地区との共催事業:ノ-残業day実施 d) WLB取組施設訪問(10月:支援員による4施設訪問)
2) 病院・施設責任者への働きかけ	a) 労働局企画委員会への参画(4月21日、9月1日) b) 関係者への労務管理研修 c) 働きやすい組織風土作り d) 労働と看護の質データベース事業(DiNQL)の推進
3) 介護領域における看護機能の充実	a) 高齢者ケア施設で働く看護管理者研修 認知症研修 ★
4) 看護職の卒後臨床研修制度の推進 (県委託)	a) プロジェクトチームによる研修実施 ・教育担当者研修 (7月6日～8日:110名) ・実地指導者研修 (H30年1月11日～13日:104名) (H30年2月8日～10日:117名) ・新人助産師合同研修 (5日間:21名) ・新人看護職員合同研修3地区で実施 (南薩・大隅・大島) ・各施設へ:研修体制の整備への支援 ・関係機関団体との連携 ・地区事業との連携
5) 看護職のリフレッシュ	a) リフレッシュ研修等の充実 b) 会員・男性看護師交流会
2 看護職確保対策の推進(県委託)	
1) 再就業相談事業	
① 看護職員就業相談事業	a) 看護師等無料職業相談、紹介 b) 看護職員需要施設実態調査 c) 地区のハローワークでの就業相談 (4月～2月:8地区77件) d) 就業相談員研修
2) 潜在看護師等就業支援	a) 離職看護師の届出制度の活用 (2月末現在:362名届出、NC登録206名)
① 離職者届出制度への対応	b) 再就業支援セミナー開催(7月鹿児島:13名、8月薩摩川内市:4名) ・注射・採血に特化した技術研修 (5月～2月:44名) c) セカンドキャリア支援
3) ナースセンターの強化・利用促進	
① 第5次NCCSの広報・活用 重点3	a) 看護学校・養成所訪問 (3月末:18校779名) b) ハローワークかごしまでの相談(3月末:18名) c) ナースセンター便りの充実 d) 中・高校の進路指導教員との連携 e) 職業紹介に関する関係機関との連絡調整 d) ナースセンター運営協議会の充実 (12/12)
4) 助産師出向支援事業	a) 助産師地域偏在の改善と助産師実践能力の強化 b) クリニカルラダーレベルⅢ認証制度の推進
5) 小・中・高校生への支援	a) 進路支援(看護への道)出前授業 b) 性教育・命の授業等の実施 c) 性教育に関する指導者育成・レベルアップ研修会 (8月26日:32名、2月24日:17名)

### 3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項目	内容
1 看護業務に関する看護の質の保証の推進 1) 特定行為に係る研修制度の推進	a) 看護業務の整理・役割拡大、他職種との連携など b) 特定行為研修制度の広報、研修機関等(9月29日49名):認定看護師交流研修会 c) 関係機関との連携 (8月26日:鹿児島大学病院等合同シンポジウム)
2) 看護業務に関する検討	a) 他職種との役割分担・連携について b) 地区における研究・発表 c) 看護工夫展の開催
3) 看護職の外出研修の検討	a) 病院と訪問看護ステーション・介護施設の相互研修 ★(9月1日～11月30日:2機関)
2 職能委員会活動	職能独自の問題の検討・提言 労働環境、業務整理、3職能の役割拡大等
1) 保健師のキャリアパスの構築	a) 新人研修、基礎教育のあり方検討
2) 助産師リーダーの推進	b) 地区との連携強化
3) 看護師リーダーの推進	a) 国及び日看協の統計等の情報収集・分析 b) 看護部長等のメーリングリストの活用 c) 各地区への訪問
3 実態把握	
4 県等への要望活動	a) 予算要望書の提出 (8月8日提出)

### 4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内容
1 県民の健康づくり推進に関する事業 重点1	
1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み	a) 関係機関の連携会議等への参加・協働 体育の日健康づくりイベント参加 b) 健康相談、計測等
・CKD予防 ・認知症予防 ・たばこ対策の推進と普及	c) 「まちの保健室」の開催 (地区事業含む) (5月27日:延2,044名看護の日記念行事) d) 他団体との連携 e) 広報活動
2) 子供・高齢者虐待予防対策への取り組み	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席 b) 施設従事者の研修等
3) 生涯を通じた女性の健康支援	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席
4) がん対策支援	a) 関係機関団体との連携・委員の推薦 b) 普及啓発運動 c) 研修会の開催 d) イベント活動への参加:ピンクリボン月間 「つながる想いinかごしま」への協力 (4月13日:13名)
5) 感染症対策支援	a) 関係機関団体との連携 b) 新型インフルエンザ計画の見直し
6) 医療・看護安全に関する支援	a) 関係機関団体との連携 b) 看護110番相談の実施 (9月末現在:13名) c) 事故調査制度に係る相談支援
7) 地域医療連携計画・地域医療構想への参加	a) 行政(県・市)の会議参加 b) 関係機関との連携
8) 難病・障害者支援	a) 関係機関との連携・会議等への出席 b) 障害程度区分認定審査会委員の推薦
9) 自殺対策	a) ゲートキーパー養成・ステップアップ講習 b) 自殺予防街頭キャンペーン参加 (9月8日:鹿児島中央駅構内)
2 次世代育成支援	
1) 次世代育成支援事業の推進	a) 思春期対策への取り組み ・性教育授業の組織化・推進 b) 子どもと子育て世代地域包括ケア体制推進 ★(9月30日:108名) c) 啓発活動推進 d) 関係機関との連携
3 地域保健活動の推進	
1) 地域ニーズに応じた保健活動	a) 保健活動の充実、スキルアップ b) 従事者間のネットワークの強化 九州ブロック会議、保健師長会など c) 保健師活動指針の活用 d) 統括保健師育成研修 (3月17日:32名)

項目	内容
4 介護保険制度の適切な運用の推進 1) 介護保険事業の推進	a) 関係機関団体との連携・協力 b) 介護認定審査委員の推薦 (平成29年度4市46名)
5 医療介護の連携 重点1	a) 他職種連携研修等への参加 (7月9日: 薬剤師会合同シンポジウム) b) 看護職連携推進事業
6 地域包括ケアシステムの構築 重点1	a) 看護職の視点からの情報発信 b) 関係機関団体との連携 c) 市町村の地域包括ケアシステム構築への参画 (5月30日、8月2日: 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会) d) 地域での介護予防・重症化予防対策への取組
7 訪問看護事業	
1) 訪問看護相談支援事業	a) 訪問看護相談支援センターの充実
① 訪問看護に関わる総合相談の対応・体制整備	b) 訪問看護相談支援ホームページの充実
② 訪問看護に関わる情報収集	c) 訪問看護師研修支援(7月29日: 新規事業(県ステーション協議会総会時)説明)
③ 訪問看護の質の向上	d) 診療報酬改正などの情報発信・相談 e) 地区での訪問看護研修支援
2) 「訪問看護ステーションかごしま」に関する事業	a) PR活動の強化、新規利用者の獲得
① 事業の適正運営・ICT化	b) 訪問看護の質・技術の向上・ICT化 (管理者研修等参加)
② 経営基盤の強化	c) 関係機関・関係団体の連携・協力 (4月: 管理者変更等に伴う施設訪問等)
③ 広報活動(地域住民、会員・会員外へ事業紹介)	d) 看護師・看護学生・医学生の実習受け入れ
④ ネットワークづくり	e) 地域のニーズの把握
3) 居宅介護支援事業所に関する事業	a) PR活動の強化、新規利用者の獲得
① 居宅介護支援事業所の適正運営	b) 介護保険制度改正に関する情報収集
② 関係機関・関係団体との連携協力	c) ケアマネジャーの質・技術向上
4) 訪問看護供給体制推進事業	a) 訪問看護事業者実態調査及び課題抽出事業 ★(7月25日: 委員会) 実態調査9月20日～ b) 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 ★ c) エンド・オブ・ライフ・ケア研修 ★ d) 訪問看護理解・連携促進事業 ★(病院看護師の訪問看護ステーションへの出向) (9月1日～11月30日) 鹿児島市医師会病院、訪問看護ステーションにて
8 医療看護安全に関する事業	
1) 医療・看護安全対策に関する情報収集	a) 地域における取り組みに関する情報収集と支援 ・医療安全ネットワーク病院連絡会の開催 b) 日本看護協会関係会議への参加 (9月28日)
2) 医療安全管理者養成研修	a) 医療安全管理者の養成と質の向上 (7月1日～11月20日: 153名) (e-learningの導入 他職種の研修受け入れ) b) 医療安全研修(他職種の研修受け入れ) (7月1日: 121名)
3) 関連機関団体との連携促進	a) 医療事故調査制度支援団体等連絡協議会への参画★
9 災害時における活動体制の推進事業	
1) 活動体制等の整備	a) 災害対応マニュアルの改正(8月末: 災害支援ナースハンドブック改訂) b) 災害支援ナース登録の推進(特に、離島)3月末現在: 124名登録 c) 支援活動に必要な物品の整備
2) 災害看護に関する研修の企画実施	a) 災害支援ナースのレベルアップ研修 b) 関係機関との連携
3) 災害訓練	a) 日本看護協会・鹿児島県・鹿児島市等との合同防災訓練への参加 5月21日5名参加: 県総合防災訓練西之表市 b) 会員・災害支援ナースの周知
4) 救護活動	a) 地区におけるイベント時の救護 (8月26日・27日: せごどんロケ救護班6名、41名救護) b) 災害支援、ネットワークづくり (9月27日: 鹿児島市と人的支援に関する協定締結) c) 県との災害協定後の支援計画の検討

## 5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

項目	内容
1 組織強化・拡大 重点4 1) 看護職のネットワーク強化事業	a) 会員専用のページ開設(9月)

## 6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

項 目	内 容																																													
1 組織強化・拡大 <span style="float: right;">重点4</span>																																														
1) 協会組織の強化 ①入会促進 ②地区との連携強化 ③施設代表者会議 ④看護師等養成校との連携	a) 各事業・研修を通してのPR活動 b) 看護協会ホームページ・広報紙の充実（4月、7月、10月、1月号発行） c) 県医師会との連携 d) 地区長情報交換（7月8日、9月16日） e) 看護学校行事（入学式への祝電・戴帽式・卒業式等）への出席，教育協議会への参加 f) 平成29年度入会率40%目標を目指す 表：地区毎の数値目標 <span style="float: right;">（単位：人）</span>																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">地区名</th> <th style="width: 15%;">策定時の 会員数 (H24. 7. 5)</th> <th style="width: 15%;">平成28年度 末会員数</th> <th style="width: 15%;">平成29年度 末目標</th> <th style="width: 15%;">平成30年 3月20日現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿 児 島</td> <td>5,341</td> <td>5,942</td> <td>6,000</td> <td>6,135</td> </tr> <tr> <td>南 薩</td> <td>791</td> <td>815</td> <td>900</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>川 薩</td> <td>644</td> <td>721</td> <td>740</td> <td>709</td> </tr> <tr> <td>出 水</td> <td>510</td> <td>492</td> <td>510</td> <td>481</td> </tr> <tr> <td>姶良伊佐</td> <td>1,337</td> <td>1,552</td> <td>1570</td> <td>1,572</td> </tr> <tr> <td>大 隅</td> <td>1,562</td> <td>1,602</td> <td>1630</td> <td>1,563</td> </tr> <tr> <td>大 島</td> <td>672</td> <td>717</td> <td>745</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,857</td> <td>11,841</td> <td>12,095</td> <td>11,947</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	策定時の 会員数 (H24. 7. 5)	平成28年度 末会員数	平成29年度 末目標	平成30年 3月20日現在	鹿 児 島	5,341	5,942	6,000	6,135	南 薩	791	815	900	776	川 薩	644	721	740	709	出 水	510	492	510	481	姶良伊佐	1,337	1,552	1570	1,572	大 隅	1,562	1,602	1630	1,563	大 島	672	717	745	711	計	10,857	11,841	12,095	11,947
地区名	策定時の 会員数 (H24. 7. 5)	平成28年度 末会員数	平成29年度 末目標	平成30年 3月20日現在																																										
鹿 児 島	5,341	5,942	6,000	6,135																																										
南 薩	791	815	900	776																																										
川 薩	644	721	740	709																																										
出 水	510	492	510	481																																										
姶良伊佐	1,337	1,552	1570	1,572																																										
大 隅	1,562	1,602	1630	1,563																																										
大 島	672	717	745	711																																										
計	10,857	11,841	12,095	11,947																																										
2) 新会員情報管理システムへの対応 3) 看護職のネットワーク強化事業	a) 会員へのナーシングの広報強化 a) 県内新入職者の交流会 ★ b) アウトリーチ活動 ★ c) 教育における啓発活動 ★																																													
4) 円滑な組織運営 ①公益社団法人としての整備	a) 公益移行後の組織整備 臨時職員等の就業規則の見直し（9月16日改正） b) 顧問弁護士の活用																																													
②県看護協会会議の定期開催	a) 事業目的達成に向けて各会議・委員会の連携・強化 ・通常総会（5月20日） ・職能別集会（5月20日） ・理事会（5月13日、5月20日、7月8日、9月16日） ・運営委員会（6月24日） ・職能委員会（毎月1回） ・常任・特別委員会 ・事業検討会 ・研究倫理委員会（9月16日） ・県看護連盟との協議（7月20日）																																													
③地区関係会議	・地区集会（6月10日、6月17日、7月1日） ・評議委員会																																													
④日本看護協会関係会議への参加	a) 日本看護協会との連携を密にし、重点事業の目的達成を図る  ・日本看護協会通常総会・職能別集会（6月7日～6月8日） ・法人会員会・職能委員長会 ・地区別法人会・都道府県職能委員長会（10月26日、27日：大分県） ・担当者会議																																													
⑤役職員の資質向上のための研修 ・学会参加																																														
⑥会員情報登録管理	a) 会員情報管理の効率化 b) 会員情報管理の精度向上																																													
⑦館内外情報管理	a) 館内ランのセキュリティ対策 b) 外部情報のセキュリティ対策																																													
⑧災害時の対応	a) 火災・地震等発生時の研修生避難の検討、訓練																																													

項 目	内 容
<p>2 広報活動</p> <p>1) 地域住民、看護職及び会員への 情報提供活動</p> <p>① 広報紙の発行</p> <p>② ホームページの定期的改善</p> <p>③ 本会事業関連冊子の作成と普及</p> <p>2) 社会への広報強化</p> <p>① 関係機関・団体を通じた広報活動</p> <p>3) 「看護の日・看護週間」行事による 「看護の心」の普及促進</p> <p>① 記念式典及びイベントの開催</p> <p>② 1日まちの保健室</p> <p>③ 「ふれあい看護体験」</p> <p>④ 「出前授業」</p> <p>⑤ 「看護への道」進路相談</p>	<p>a) 「看護かごしま」の充実（4月号、7月号、10月、1月号発行）</p> <p>b) 新コーナーの検討</p> <p>c) ホームページ・看護かごしまへの各委員会活動等の掲載の徹底（各委員会終了時掲載）</p> <p>d) 女性団体連絡協議会との連携</p> <p>a) 社会・マスコミへ向けた活動</p> <p>a) 県民への広報 鹿児島県・市、県・市医師会等との連携 まちの保健室5月27日</p> <p>b) 中学生・高校生のふれあい看護体験の募集・実施，施設への呼びかけ （49施設494名）</p> <p>c) 報告書の作成と配布</p>
<p>3 会員支援に関する事業</p> <p>1) 看護職賠償責任保険制度加入促進</p> <p>2) 会員の福利厚生</p> <p style="text-align: right;">重点3</p>	<p>a) 研修会時の広報</p> <p>a) 各種表彰制度への会員の推薦（県知事表彰4名、厚生労働大臣表彰看護師5名）</p> <p>b) 慶弔・災害見舞制度の運用</p> <p>c) 災害支援ナース傷害保障保険加入（更新済み）</p> <p>d) 役員・委員の傷害保険加入（更新済み）</p> <p>e) テーマパークの入場料助成等（ハーモニーランド夏期219名）</p> <p>f) 研修ポイント制の広報及び利用促進</p>
<p>4 施設管理に関する事項</p> <p>1) 鹿児島県看護研修会館の管理</p> <p>① 建物整備の管理・運営</p> <p>2) 図書室管理・運営</p> <p>① 文書・文献等の充実</p> <p>② 文献検索体制の整備</p>	<p>a) 定期的保守修繕</p> <p>b) 会館設備充実</p> <p>a) ホームページでの図書検索</p> <p>b) 雑誌、ビデオ、DVDなどの整理</p> <p>c) 教育環境の整備（インターネット導入等）</p>